



管理職の仕事
を漢字一文字
で表すと？

『繋』

その漢字を選んだ理由は？

今、私たちが向き合う課題は、一つの部署だけで解決できるものばかりではありません。だからこそ、部署の垣根を越えて取り組むことが、これまで以上に求められていると感じます。管理職として、様々な部署が分野横断的に連携できるような役割を果たしたいと考えています。

八尾市をより魅力あるまちにするために、職員、市民、事業者などが様々な形で繋がっていくことができるように、人との縁を大切にしたいという想いも込めて『繋』を選びました。

入庁後のキャリアや身についたスキル

入庁した当初は福祉部門の業務に携わっていました。制度が大きく変わるというタイミングがあったのですが、その際新たに発足した組織に派遣職員として出向することとなり、他市町村の職員とともに働いていました。

出向先では、一から制度や組織を作っていく、という役割を担うこととなり、議会对応、広報、監査など幅広い業務に携わることができました。様々な経験を通して、幅広い知識を得ることができたと感じていますし、そこで出会った上司は、私にとってのロールモデルとなっています。

その後、企画部門へと異動したのですが、現場対応していた時には関わることのなかった部署や職員との関わりも増え、組織全体に関わる業務を通じて、新たな気づきを得たり、見識が深まったと思います。

それから八尾の農業や文化に関わったり、入庁当初とは違う形で福祉に関わったり、振り返ると本当に多岐にわたって仕事に携わることができています。

そこで出会った人々とのつながりはかけがえのないものですし、様々な経験ができたからこそ、多角的に物事を捉える力も身についたと感じます。

大変なこともたくさんありましたが、その分、楽しさや面白さ、やりがいもたくさんあります。

管理職としてどのような仕事をしていますか？

管理職の役割とプレイヤーとしての役割のどちらも担っていると感じています。現場の声を聴くことで、これまでになかった新たな発想につながることもあります。そういった日々の気づきを活かすことで、管理職として、より幅広い視点で仕事に向き合うことができていると思います。仕事を進めるにあたっては、所属職員一人ひとりの個性をどう活かすかということも意識しています。一人で抱えがちですが、上司にも相談しながら、チームで対応しています。

八尾市職員をめざす方へのメッセージ

私は八尾市の採用試験に落ちた経験があります。それでも、入庁後は様々な部署で様々な経験をすることができています。「失敗してもあきらめない」ことがとても大切です。

市役所の業務は本当に多種多様です。事務職で入庁しても、時には大阪府や農協の方と一緒にヌートリアの捕獲に携わることもあれば、一転して芸術文化の担当としてアーティストの方々やイベントを一から創り上げることもあります。

また、福祉の現場で虐待対応に奔走し、命や暮らしの重みと向き合う日々もありました。まさに『転職』に近い感覚になるほど違う仕事の連続ですが、その一つひとつが、今の私を作っています。

どの現場も、入庁前の自分には想像できなかった世界でしたが、そこで出会った人々や得た知識は、私の大きな財産になりました。

みなさんも様々な部署での業務を経験する中で、自分でもまだ気づいていない自分の能力や好きなことを見つけられるかもしれません。

八尾市の「押し」

芸術・文化の振興につながる活動がたくさんあるところですよ。どんなことであれ、興味があることに参加し、楽しむことがインプットになり、仕事につながっていると感じられます。